

**製品名: ヒストン H3.3 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab12071**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:10000
分子量	15kDa

**抗原情報**

遺伝子名	H3F3A
別名	H3F3A; H3.3A; H3F3; PP781; H3F3B; H3.3B; Histone H3.3
遺伝子 ID	3020/3021
SwissProt ID	P84243
免疫原	抗血清はヒトヒストン H3.3 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 16-65

**背景**

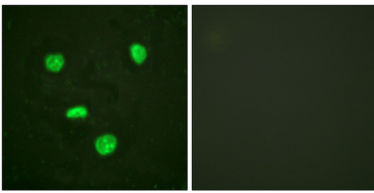
ヒストンは、真核生物の染色体繊維のヌクレオソーム構造を担う基本的な核タンパク質です。4つのコアヒストン (H2A、H2B、H3、H4) はそれぞれ2分子ずつ八量体を形成し、その周囲に約146bpのDNAがヌクレオソームと呼ばれる繰り返

し単位に巻き付いています。リンカーヒストンである H1 は、ヌクレオソーム間のリンカー DNA と相互作用し、クロマチンを高次構造に凝縮する役割を果たします。この遺伝子はイントロンを含み、ほとんどのヒストン遺伝子とは異なり、mRNA はポリアデニル化されています。

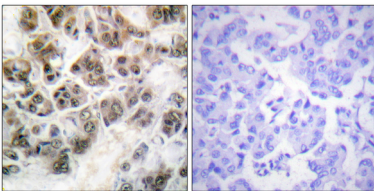
## 研究分野

タンパク質アセチル化

## 画像データ

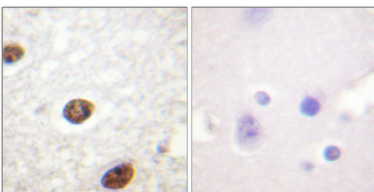
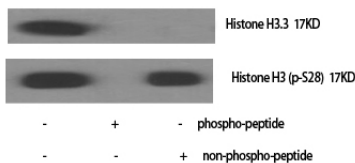


ヒストン H3.3 抗体を用いた HeLa 細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。



ヒストン H3.3 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト脳の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。

1: 1000 に希釈したヒストン H3.3 ポリクローナル抗体を使用した Hela 細胞のウエスタンブロット分析。



パラフィン包埋ヒト脳の免疫組織化学染色。抗体は 1:100 (4°C、一晚) に希釈した。抗原賦活化には、高圧高温トリス EDTA (pH8.0) を使用した。抗体から得られたネガティブコントロール (右) は、免疫原ペプチドで前処理した。